

2021年男女各ブロック春季対抗戦『感染対策要項』

2021年4月8日

関東学生ゴルフ連盟

感染対策委員会

目次

はじめに・・・基本的観点と加盟員、関係者の心得について	2ページ
1、検査方法とそれに対する諸注意事項	3ページ
①唾液採取によるPCR検査の内容説明	
②検査方法の検査時における手順と注意事項	
②-1) 検査キット送付先の指定と到着日	4ページ
②-2) 検体採取実施	4ページ
②-3) 検体送付	5ページ
②-4) 検査結果判明通知（陽性・陰性）について	5ページ
2、試合当日の会場入場時における感染対策チェック項目	6ページ
①入場時の流れの説明と提出義務書類について	
*入場を許可されないケースについて説明	
②注意すべき服用薬について	
③入場チェック前に必ず守って頂きたい約束事→チーム責任者へのお願い	
3、試合終了後の帰る際と、帰る道中について	7ページ
①帰る際の注意事項	
②無事に自宅に着くまでは適度な緊張感をもって、安全運転に努める	
4、その他の諸注意事項	8ページ
①試合中、体調に異変をきたした場合	
②試合終了後の自制的な生活遵守のお願い	
③「体調管理チェックシート」の開始日	

はじめに

選手、関係者の皆さま

昨年度に引き続き、感染状況が混沌としているコロナ禍での試合開催に、ご理解とご協力の意を示して頂き、誠にありがとうございます。

本連盟主催競技開催に際して、感染対策の基本的考え方は、JGA、UNIVAS（大学スポーツ協会）の観点にリンクし、本連盟が医療専門家も交えて作成、ご提示させて頂いた「ガイドライン - 改訂版 -」（以下ガイドラインと表記）に沿って活動して頂くことが全てのベースとなっております。

そして感染対策の指針として、

- ①加盟員とその関係者、ご家族の健康と命を守ることを最優先する。
 - ②責任を持って感染対策を徹底し、感染拡大防止に努め社会（日本国）に協力する。
- 以上の2つの骨子を指針とし、状況判断、運営に努めるものとします。

その為、試合中はもとより、普段の生活においても（特に試合の2週間前、2週間後）、ガイドラインを遵守した行動を徹底して頂くことが、感染防止の大前提となっております。

競技開催前に、リモートによる「感染対策レクチャー会」を行ない、ガイドライン内容やCOVID-19（新型コロナウイルス感染症）への感染対策等を説明させて頂くかたちとなりましたが、同時に、今一度このガイドラインを読み返して頂き、ご理解を深めて頂ければ幸いです。

変異株の驚異も新たに加わり、いまだ収束の目処が立たない実情において、新しい生活様式、新しい競技スタイルをより強く求められる今、そこに携わる全ての関係者の皆さまが共通の目線を持ち、自制的で理性的な姿勢をもって連盟主催競技に臨んで頂き、大会の円滑な進行と成功をおさめることができますよう、ご協力のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

関東学生ゴルフ連盟
感染対策委員会リーダー 金井 毅
感染対策委員会一同

1、検査方法とそれに対する諸注意事項

①唾液採取による PCR 検査の内容説明

今年度、上記にあるように唾液採取による PCR 検査を、表参道ヘレネクリニック様のご協力により、実施させていただきます。

その検査方法は、全ての大学に対し、以下の形で行います。(前述の感染対策レクチャー会でも説明)

検査キットが各校の指定された住所に届き、その中にある所定の容器に、当該選手の唾液を採取し、それを所定の検査機関に送り返す！という、迅速かつ簡素化された最新の検査方法で、検体が検査機関(午前必着)に届いたら、当日夕方～夜に判定が出ます。但し、偽陰性など再検査が必要となった場合は、翌日に判定となります。

***検査費用に関しては、登録選手全員と主務1名(またはそれに準ずる者)のみが検査を受けて、1名当たり¥2000の費用負担となりますことをご承知おき下さい。**

なお、自身の大学に附属病院などが存在し、比較的容易に競技3～4日前以内に PCR 検査が受けられる大学に関しては、予め(男女各ブロック競技開始の2週間前までに)学連事務所までご連絡下さい。その際の検査費用は、立替えて頂き、大学単位で後日精算とします。また、検査判定証明(陰性証明)は、男女各ブロック競技開始の必ず2日前ないし3日前に学連事務所に提出すること(FAX可)。

*但し、本連盟からの負担援助額は税込2600円までとします。

指導者の方は(但し帯同1名まで)その分の費用負担はご本人負担とさせていただきます。本連盟が主導する今回の検査を受けても構いませんが、その費用は後日、本連盟よりご請求させていただきます。(ご負担金4600円)

勿論、指導者の方が、この検査方法ではなく、別の医療機関で検査を自費で受けても構いませんが、(但し、競技3日前以内)その際は、その判定証明(陰性証明)を、入場時にご提出を必ずお願い致します。

②検査方法の検査時における手順と注意事項

PCR 検査キットを、大学側が決めた代表者の所に送付し、その代表者の主導で、検査(唾液採取)を行い、採取後、速やかに所定の機関に返送するやり方となります。

②-1) 検査キット送付先の指定と到着日について

各大学の代表者（指導者か主将、主務、或いは、選手内の感染対策責任者）宛に人数分の「PCR 検査キット」が、下記の日に届きます。（運送事情で少し前に着くこともあり得ますが、ほぼ間違いなく下記の日が届きます）

- ・女子 ABC ブロック参加校→4 月 30 日（金）
- ・男子 CD ブロック参加校→5 月 7 日（金）
- ・男子 EF ブロック参加校→5 月 8 日（土）
- ・男子 AB ブロック参加校→5 月 14 日（金）
- ・女子 DE ブロック参加校→5 月 21 日（金）

*その為、検査キットのお届け先住所・電話番号・代表者氏名とそして登録選手全員（プラス学生帯同者）の氏名・連絡先・生年月日を所定の「団体戦エントリー用紙」に記入し、検査の為の事前登録をお願い致します。指導者が受けられる場合も、その方の氏名・連絡先・生年月日をご記入下さい。

②-2) 検体採取実施について

各校代表者は、下記の日にちに全員の検査を完了すること！

*この日以前に検体採取を行なうのは、余程の理由がない限り、検査精度上、避けて下さい。

- ・女子 ABC ブロック参加校→5 月 2 日（日）遅くとも 3 日（月）午前中までに
- ・男子 CD ブロック参加校→5 月 9 日（日）遅くとも 10 日（月）午前中までに
- ・男子 EF ブロック参加校→5 月 11 日（火）遅くとも 12 日（水）午前中までに
- ・男子 AB ブロック参加校→5 月 16 日（日）遅くとも 17 日（月）午前中までに
- ・女子 DE ブロック参加校→5 月 23 日（日）遅くとも 24 日（月）午前中までに

その代表者が定める指定の場所にて、添付された検査マニュアルに従い、選手、関係者から唾液採取を行います。

その際の注意事項として、

- ・採取する場所が 3 密にならない所であること。
- ・採取する場所に向かう際に、密になるような移動を避けること。
- ・採取する際、密にならないよう「ソーシャルディスタンス」保持や換気を心がける。
- ・検体採取時間は、できる限り短時間（1 時間以内）で一斉に済ませる。*やむを得ず、長きに渡る場合、検体の保存は、日陰の高温にならない場所に保管する。（冷蔵庫可・但し検体なので保管方法に注意すること）
- ・採取の 1 時間前までに水以外の飲食は済ませ、必ず歯を磨いておくこと。
- ・採取時は水以外の飲食は NG→不純物が入る懸念があるため

②-3) 検体送付について

検査対象の全員が採取し終わったら、マニュアルに従い、採取した検体を所定のパッケージ（箱、もしくは袋・封筒の予定）に入れ、梱包したら、それを本連盟が指定する検査機関の住所に速やかに送ること。

その際の注意事項として、各校責任者は、

下記の日にちに必ず発送を完了すること *翌日午前必着で送ること（着払）

- ・女子ABCブロック参加校→5月3日（月）発送 *検査機関4日（火）午前中必着
（上記日程はゴールデンウィーク中ゆえ、事前に休日集荷の手立てを確認・完了しておくこと！）
- ・男子CDブロック参加校→5月10日（月）発送 *検査機関11日（火）午前中必着
- ・男子EFブロック参加校→5月12日（水）発送 *検査機関13日（木）午前中必着
- ・男子ABブロック参加校→5月17日（月）発送 *検査機関18日（火）午前中必着
- ・女子DEブロック参加校→5月24日（月）発送 *検査機関25日（火）午前中必着

*検体発送を速やかに行って頂かないと、検査機関への到着が遅れ、判定結果も立ち遅れ、大きな混乱を生じます。この部分は特に留意して、迅速に発送を行って下さい。所定の時間に到着せず、**判定できない大学は、残念ですが参加が認められません。**

万が一、検体出荷が指定の日に間に合わない（できなかつた）場合、その当該校は、自ブロックの検体到着日に、直接ヘレネクリニック様に手持ち持込みでお届けください。
検査を司る代表者は、責任を持って、検査の円滑進行、期日厳守に努め、万全の態勢で臨んで頂くことを切にお願い致します。

発送先（既に伝票に印字されています） *「午前必着」となっているか要確認

〒107-0062 港区南青山 5-9-15 OHMOTO ビル 3階

表参道ヘレネクリニック宛 TEL03-3400-2277 *水曜、日曜休診日

問い合わせ&担当責任者：総務部長 並木亜紀子さま TEL：050 - 3700 - 7486

・検体が、午前中に検査機関に到着した場合はその日の夕方～夜に検査判定（陽性・陰性）が出ます。但し偽陰性など再検査が必要な場合、その当該大学のみ翌日判定となります。

②-4) 検査結果判明通知（陽性・陰性）について

もしも「陽性」判定が出た場合は、検査機関より本人へ連絡があるので、日本国の様式に基づき、検査機関の指示に従った行動をとって下さい。（検査機関から保健所にも連絡されます）

また、陽性判定者は、試合には出場できないので、**陽性判定の結果を部の責任者に必ず報告**して下さい。

報告を受けて、責任者は、まず所属大学当局にその旨の連絡を入れ、大学当局の指示・判断をあおいで下さい。大学当局からの指示が「チームの出場を認める」となった場合

に限り、出場選手の変更を速やかに本連盟に申し入れて下さい。

今大会に限り、登録選手内であれば、直前(当日、第一組めスタートの30分前まで)変更を可とする。但し、「当日 選手変更届」の用紙に記入・提出すること

*また、同時に本連盟の所定用紙「濃厚接触チェックシート」を本人含め会場入りする全員に記入して貰い、本連盟へメール <info@ksga.jp> もしくはファックス(03-3263-4590)にて送信し(手持ち持参可)、部内での濃厚接触の有無を速やかに確認し、クラスター発生防止、並びに実態把握に努めて頂きます。

*同一校から2名以上陽性者が出た場合は、クラスターの疑いとなり、その大学は出場できません。

★陰性判定の場合は、本連盟より、その旨を事前登録された代表者にお知らせ致します。前述の通り、検体が検査機関(午前必着)に届いた、その当日の夕方～夜に判定が出来ます。但し、検体が午後着となった時や偽陰性など再検査が必要となった場合は、翌日に判定となります。*水曜が休診日ということもよく認識しておいて下さい

判定結果に関しては、個人情報ゆえ、基本として本人への通知となりますが、安全管理面の見地から、本連盟の感染対策責任者(理事 金井)だけに 全員の検査結果データが送られてきます。その旨をご承諾下さい。

2、試合当日の会場入場時における感染対策チェック項目

① 入場時の流れの説明と提出義務書類について

入場の際は、本連盟が定める所定の場所(わかりやすい場所に設置します)にて、感染対策の見地で、一人一人チェックを行います。

1) まず、所定の項目(体調面や平均体温)をきちんと記入した「体調管理シート」を必ず提出➡シートを提出できない或いは内容が記入されていない場合入場できません。

↓

2) シート提出時・直後すぐにサーモグラフィーによる「検温」を行います。
➡その際、シートに記載の平均体温より1度を超えて高い体温の者は、「再検温」の場所に回って頂き、より精度の高い検温器で再度、測り直します。それでも、前述の規定「平均体温より1度を超えて高い体温」に抵触した者、又は37.5度以上の者は入場できません。

★入場できない選手が出た場合、責任者は、前述の5ページにならって、出場選手の変更を速やかに行ってください。

②注意すべき服用薬について

以下の薬について、服用する際は重々気を付けて下さい。

・解熱剤・・・発熱症状があり、入場チェックを通過するための目的で事前に服用す

ることを禁じます *服用する場合は、入場チェック許可が出た後に服用する
・鎮痛剤・・・鎮痛剤の多くは解熱剤と同じ薬剤です（例 ロキソニン、パファリン、イブ
プロフェン、ボルタレン、インドメタシン等）。従って、肘や腰などの痛みの為
に服用した場合、解熱剤と同様の体温変化が生じます。解熱剤と同様に入場チ
ェック許可後に服用してください。普段から服用している場合は、習慣化して
いる日々の検温にて、その状況（体温変化）を把握しておくことが望まれます。

③入場チェック前に必ず守って頂きたい約束事→チーム責任者へのお願い
感染対策の大切なポイントとして、責任者の方は、以下の点を必ず遵守して下さい。

- 1) 当日の朝（試合会場出発前）に、発熱症状（平均体温より1度を超えて高い場合）がある者、或いは体調を崩している者はいないか？！の確認チェック。
- 2) 上記に該当する選手・関係者をコース入りさせない。
- 3) 「体調管理チェックシート」を忘れていないか？

3、試合終了後の帰る際と、帰る道中について

①帰る際の注意事項

- 1) 試合終了後は、速やかに帰路について下さい。
- 2) 配車に関しては、往路と同じメンバー（もしくは1人）であること。
- 3) 往路同様、車内を密閉せず、空気の循環を意識して下さい。

②無事に自宅に着くまでは、適度な緊張感をもって、安全運転に努める

ラウンド後の体力面での疲労感や、試合が終わったことへの気の緩みが、運転に少なからず影響を受けることがあると思われます。皆さんが無事に自宅に戻ってこそ、本当の意味での競技成立だと思えます。

安全運転に努めることはもとより、そのための普段からの仕組み作りを行って下さい。その推奨事項として、

- 1) 部内に「安全運転管理責任者」を設置し、常に注意喚起し合う環境作り。
- 2) 前日の睡眠を可能な限り、しっかり取っておく。
- 3) あらかじめ適度な休憩を 小まめに入れる道程計画 *時間にも余裕を持つ。
- 4) 疲労感や眠気を感じた場合、空気の入替えや水分摂取を小まめに行いつつ、最寄りの休憩エリアに速やかに入って休憩する。 *事前に眠気対策グッズ・ドリンク等を用意しておくのもよい。
- 5) 試合終了後は速やかに帰ることで、視界が明るいうちに帰路につく。
- 6) 同乗者がいる場合は、安全に運行できるよう、双方が協力し合う。
- 7) ガイドラインの「帰路」について！も参照しておく。

4、その他の諸注意事項

①試合中、体調に異変をきたした場合

その場合、外傷など、その理由がはっきりしている場合を除き（例えば毒虫に刺された・転んで手を怪我した 或は本人がわかっている自己疾患等）、速やかに その症状を含めて本連盟の運営事務局に申し出ること。

*ガイドライン 『競技会場での COVID-19 を疑う症状を発症した場合の対処マニュアル』も参照

その上で、

- ・コースから紹介頂いた近隣病院、または身近な医師に相談。
- ・救急車(119番)へ連絡しそこで適切な対応して貰う。*このケースが最もあり得る。

②試合終了後の自制的な生活遵守のお願い

その日の試合が終了した後も、ガイドラインにならって、感染対策の見地において、自制的な日常生活を過ごし、健全、健康な身体、体調管理を整えられるよう、宜しくお願い致します。

③「体調管理チェックシート」の開始日 *試合開始当日から 15 日前

- ・女子 ABC ブロック参加校 →4月23日(金)よりチェック開始
- ・男子 CD ブロック参加校 →4月30日(金)よりチェック開始
- ・男子 EF ブロック参加校 →5月1日(土)よりチェック開始
- ・男子 AB ブロック参加校 →5月7日(金)よりチェック開始
- ・女子 DE ブロック参加校 →5月14日(金)よりチェック開始

以上となります。

本連盟としても事前準備含め、より円滑に推進できるように努めます。しかしながら不慣れな部分もあり、皆さまには細かい段取りを強いらせてしまいますが、感染対策の見地で、安心・安全な競技開催を具現化する為の大切な行動指標として、ご理解頂ければ幸いです。

このコロナ禍での競技開催が、皆さまにとっても本連盟にとっても、今後(未来)に繋がる有意義な開催となることを切に願っております。